

TOTO ウォシュレットGA・GB・GP (水道直結給水式) 施工説明書

はじめに

このたびは、TOTOウォシュレットをお求めいただき、まことにありがとうございます。
製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

1. 電気工事が必要な場合は必ず電気工事に依頼してください。
2. 商品にはお客様用として、取扱説明書（保証書付）を同梱しています。工事完了後、お客様に手渡ししてください。
3. 取扱説明書中の保証書には、お買上げ店名又は工事店名及びお取付日を必ず記入してください。

安全上の注意

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

1. 浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。
(火災や感電のおそれがあります。)
2. アースは、第3種接地工事（100Ω以下）を行ってください。
(感電するおそれがあります。)
3. 水道水及び飲用可能な井戸水（地下水）以外は使用しないでください。
(皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。)
4. 漏電保護プラグを交流100V（50/60Hz）のコンセントに根元まで確実に差込んでください。またガタついているコンセントを使わないでください。
(感電や火災のおそれがあります。)

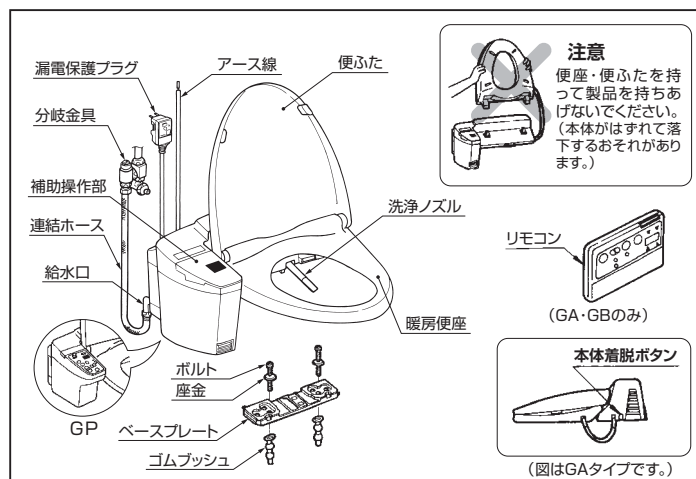
注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

1. 連結ホースを折曲げたり、つぶしたりしないでください。(漏水するおそれがあります。)

取付前の注意

1. 電源は、交流100V（50/60Hz）、最大消費電力は576Wです。
必ずこれに適した配線をしてください。
2. 電源コードの長さは1.0mです。コンセントは本体のコード取出し位置から0.6m以内の壁面に設けてください。
3. 給水圧力範囲は0.05MPa～0.74MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
4. 給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。
5. 連結ホースの長さは0.97mです。給水取出し位置は、本体の給水口から0.7m以内に設けてください。
6. 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
7. スワレットへのお取付けはウォシュレットGB・GPのみが可能です。
8. 室内暖房用の温風吹出口には100mm以上の空間を確保してください。

各部の名称



部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。

①ウォシュレット本体		②リモコン部品 (GA・GBのみ)	
		リモコン	リモコンハンガ
		アンカープラグ (3ヶ)	リモコン用乾電池 (単三形) (2ヶ)
		ねじ (3ヶ)	
③ベースプレート部品			
ベースプレート (ストッパー付)	ボルト (2ヶ)	座金 (2ヶ)	ゴムブッシュ (2ヶ)
④分岐金具	⑤連結ホース	⑥取扱説明書 (保証書付) 同封	

仕様

項 目	内 容
定 格 電 源	交流 100V 50/60Hz
最 大 消 費 電 力	576W
1時間当たりの標準消費電力	42Wh (1日12回使用で年間平均にて計算しています。)
電源コード (同アース線長さ)	1.0m
洗浄装置	おしり洗浄
	吐水量
	おしり洗浄
	吐水量
	温度調節範囲
温風乾燥装置	温度調節範囲
	ヒータ容量
	タンク容量
	安全装置
	逆流防止
暖房便座	温度ヒューズ
	温度調節範囲
	ヒータ容量
	安全装置
	温度ヒューズ
室内暖房装置 (GAのみ)	設定温度
	ヒータ容量
	安全装置
	温度ヒューズ
	自動復帰式バイメタル
脱臭機能	方式
	風量
	最低必要水圧
	最高水圧
	給水温度
製品寸法	洗落し便器用
	その他の便器用
	製品質量
	製品質量
	製品質量

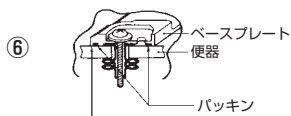
* 1: トイレ寸法 幅0.8m×奥行1.8m×高さ2.0mで行われた当社実験における測定値です。

取付方法

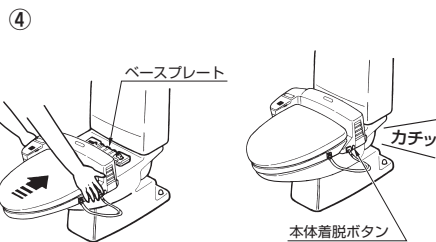
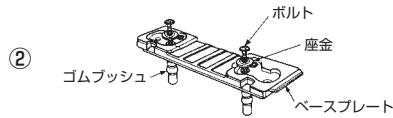
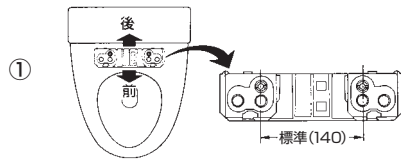
1. 便器への取付け

一般の便器への取付け

- ① ベースプレートの取付方向を確認する。
● 前後と表示している面が表側です。
前と表示している方を便器の先端側に向けます。
- ② ベースプレート表側から座金・ボルトを差し込み、裏側からゴムブッシュを3山程度ねじ込む。
- ③ ゴムブッシュを便器取付穴に差し込み、上面からドライバーでボルトをかるく締めておく。
● ゴムブッシュの表面を濡らしておくとし込みやすくなります。
- ④ 本体を取付ける。
● 本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、「カチッ」と音がするまで本体を押込むと位置が合わせやすくなります。
- ⑤ 本体がまっすぐに取付くことを確認し、いったん本体を外す。
● 本体は本体着脱ボタンを押したまま手前に引くと外せます。
- ⑥ ベースプレートが便器に当たるまでボルトを本締めした後、再び本体を「カチッ」と音がするまで押込む。



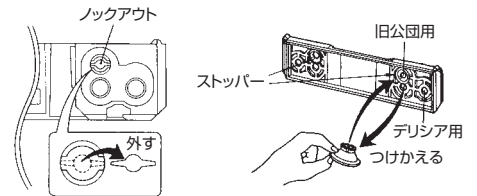
バックンがつぶれて、ベースプレートが便器にあたるまで締付ける。



本体を便器に取付けた際、上下左右に若干のガツキが発生します。
(これは、本体ワンタッチ着脱方式を行うために設けたスライド部の隙間によるもので、異常ではありません。)

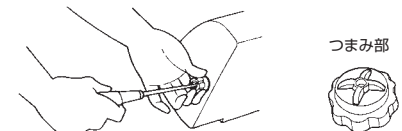
デリシア用・旧公団用便器への取付け

- 旧公団用の取付穴を使う場合はノックアウト部を取外してください。
- ベースプレートについているストッパーをデリシア用、旧公団用の穴へ付け替えてください。



スワレットへの取付け (GB・GPのみ)

スワレット(CS501・CS501F)に製品を取付けると、温水タンク水抜栓が床に当たるため、温水タンク水抜栓のねじをドライバーでゆるめ、温水タンク水抜栓のつまみ部を取外します。



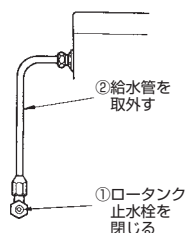
工事店様へ

取外したつまみ部は、熱交換タンクの水を抜く際に必要です。
工事完了後、必ずお客様にお渡しください。

2. 分岐金具の接続

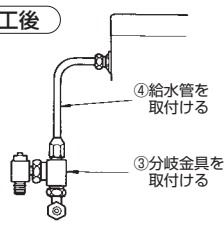
一般のタンクから取水する場合

施工前



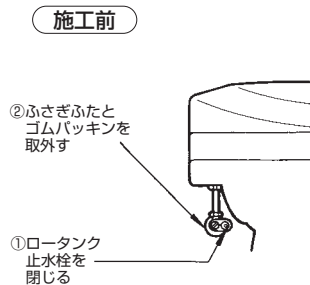
- ① ロータンク止水栓を閉じる。
- ② 給水管を取外す。
- ③ 分岐金具を上図のようにロータンク止水栓に取付ける。
- ④ 給水管を約10mm差込代がとれる寸法に切り、接続する。

施工後



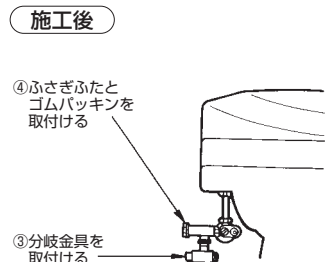
ワンピース便器から取水する場合

施工前

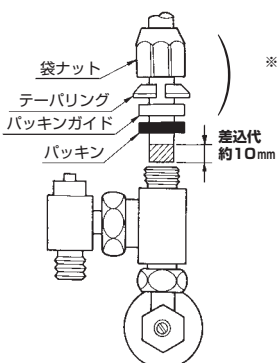


- ① ロータンク止水栓を閉じる。
- ② ふさぎふたとゴムパッキンを取外す。
- ③ 分岐金具を下図のようにロータンク止水栓に取付ける。
- ④ ふさぎふたとパッキンを取付ける。

施工後

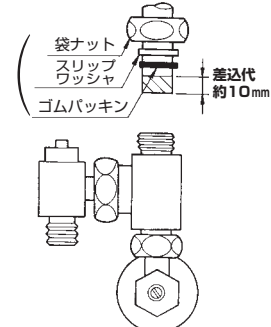


接続部にテーパリングを使用している場合



※順番、向きを間違えないでください。

接続部にテーパリングを使用していない場合



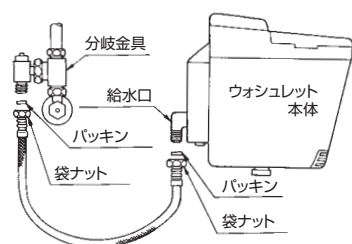
フラッシュバルブから取水する場合

フラッシュバルブから取水する場合は、別売品のTH484 (フラッシュバルブの給・排水心120mm用) 又はTH484-1 (低圧フラッシュバルブ用) が必要となります。

右給水の隅付タンクから取水する場合

隅付タンクの給水が向かって右側の場合は、連結ホースが短いので別売品のTCA14が必要となります。

3. 連結ホースの接続



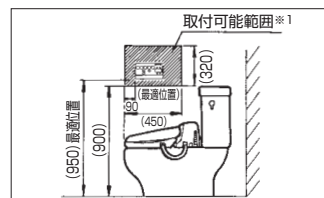
- ① ウォシュレット本体の給水口と連結ホースを接続する。
※スパナを2本使うと確実に締付けられます。
- 
- ② 分岐金具の給水取出口と連結ホースを接続する。
- 
- ③ 本体の取付け・取り外しがスムーズに行えるだけのホースの余裕を確認する。

⚠ 注意

連結ホースは必ず付属のものを使用してください。
 (付属以外のホースを使用するとよじれて漏水すること)
 があります。

4. リモコンの取付け (GA・GBのみ)

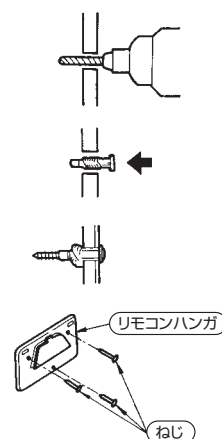
- ①リモコン取付位置を決めます。
■のところが取付可能範囲です。
※1.弊社試験環境（W800×L1700×H2300）下での取付可能範囲です。



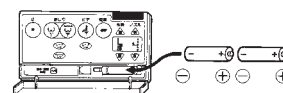
石膏ボードやタイル・コンクリート壁への取付け

壁の材質が石膏ボードやタイル・コンクリート壁の場合は、付属のアンカープラグを使ってリモコンハンガを取付けてください。

- (1) リモコンハンガのねじ位置に合わせ、ドリルで壁に直径6mmの下穴をあける。
※タイル・コンクリート壁の場合、直径6mm、深さ約33mmの下穴を開けてください。
- (2) ハンマーなどを使い、アンカープラグを下穴に打ち込む。
- (3) リモコンハンガをねじで取付ける。
※石膏ボードに取付ける際は、ねじの締付けがはじめは堅く、いったんゆるくなって再びややかたくなります。ややかたくなるまでしっかりと締付けてください。

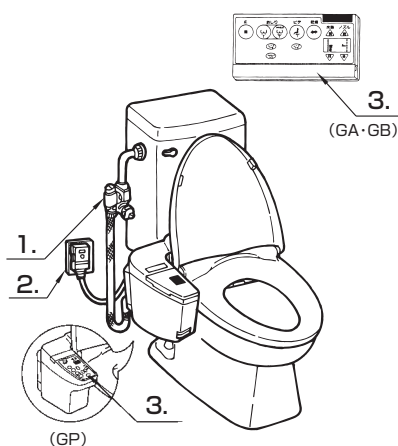


- ③電池カバーを開け、リモコンに電池を入れる。
※⊕⊖を間違えないでください。
- ④リモコンをハンガにセットする。



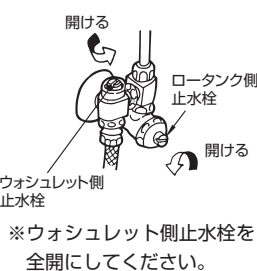
試 運 転

取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。



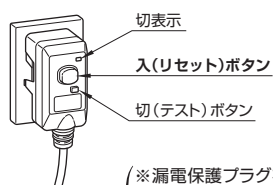
1. 水漏れの点検

ウォシュレット側止水栓と、
ロータンク側止水栓を開いて
配管から水漏れがないことを
確かめてください。



2. 漏電保護プラグの確認

- ①漏電保護プラグを100V(50/60Hz)のコンセントに差込んでください。
※ノズルが一旦出て戻る初期動作を行っているか確認してください。
②漏電保護プラグが正常に作動することを確認してください。

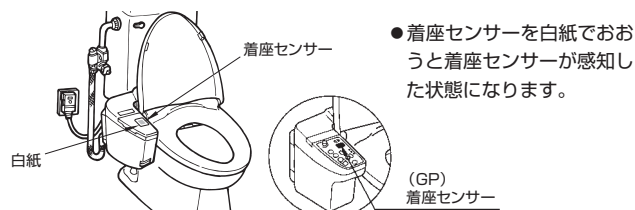


切(テスト) ボタンを押すと切表示が赤色になり、入(リセット) ボタンを押すと白色になる動作が正常です。切表示が赤色の状態では通電されませんので、**テスト後は必ず入(リセット) ボタンを押してください。**
※切表示にはランプ表示のものもあります。

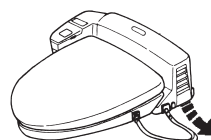
(※漏電保護プラグを落下させてしまった場合などに切表示ランプが点灯する場合があります。入(リセット)ボタンを押してください。)

3. 機能の確認

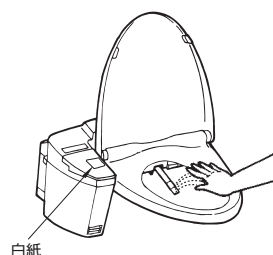
- ①着座センサーを白紙でおおう。



- ②脱臭機能を確認する。

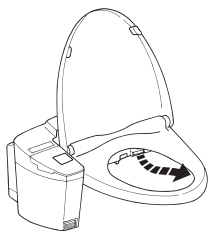


- ③洗浄機能を確認する。



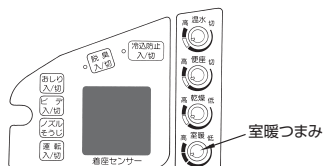
- 着座センサーを白紙でおおうと着座センサーが感知した状態になります。
- (GP)
着座センサー
- 本体ケースの右側から風がでていますか？
- 吐水は手のひらで受けてください。
- (☺) (☺) (☺) を押すとノズルから適温の温水がでますか？
(温水タンクが空の時は吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。)
- (△) (▽) を押すと水勢が変化しますか？ (GPは水勢つまみで確認してください。)
- 本体から水漏れはありませんか？
- (■) を押すと止まりますか？

④乾燥機能を確認する。



- (乾燥) を押すと温風が便座後方から出ますか？
- (乾燥) を押すと止まりますか？

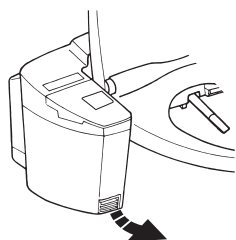
⑤室内暖房機能を確認する。(GAの場合)



- 補助操作部の室温つまみを「高」にしてリモコンの (室温) を押すと、本体の左側から温風がでますか？

※室温が25℃以上の場合は温風にならないことがあります。
※設定温度よりも室内温度が高くなるとファンが止まります。

- (室温) をもう一度押すと約10秒後に温風が止まりますか？



⑥暖房便座機能を確認する。

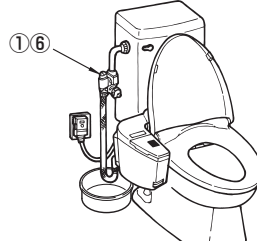
- 便座が温まっていますか。(15～20分かかります。)

⑦着座センサーの白紙をはずす。

- 着座センサーをおおっている白紙をはずします。

ストレーナの清掃

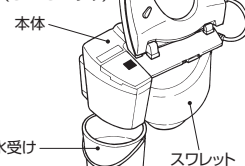
ストレーナに水あかやごみが詰まると、おしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。施工後は必ずストレーナを掃除してください。



①ウォシュレット側止水栓を閉める。

②連結ホース水抜栓の下に水受けを置く。

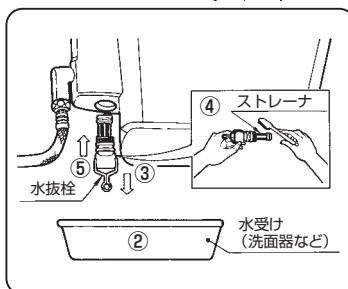
※スワレットに取付けた場合は、本体着脱機構で本体を取外して、水受けを床下に置いてください。(GB・GPのみ)



③連結ホース水抜栓をゆるめた後、引抜く。

※ペンチなどの工具は使わないでください。(故障の原因になります。)

※連結ホース水抜栓が固くてはずしにくい場合は、水抜栓のフックをたおして図のように回してください。



連結ホース水抜栓がはずしにくいときは



連結ホース水抜栓のフックを図のようにたおして回してください。

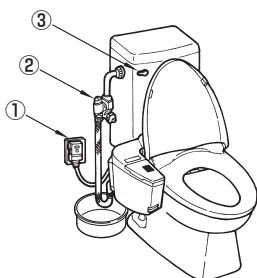
④ストレーナを歯ブラシで掃除する。

⑤連結ホース水抜栓を押込んだ後、確実に締付ける。

⑥ウォシュレット側止水栓を全開にして漏水がないことを確かめる。

凍結のおそれがある時の処置

お客様に引渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故予防のため、次の要領で水抜きをしてください。



①漏電保護プラグを抜く。

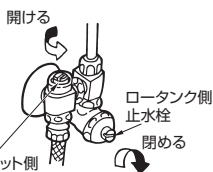
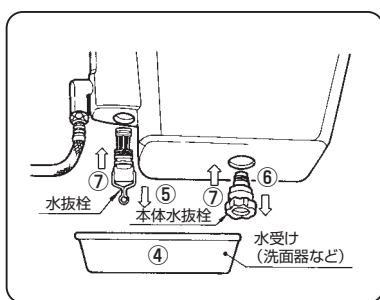
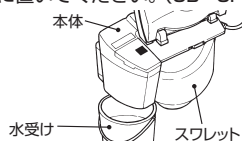
②ロータンク側止水栓を閉める。

- ウォシュレット側止水栓が開いていることを確認してください。

③レバーハンドルを操作し、ロータンクの水を抜く。

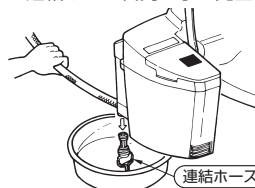
④連結ホース水抜栓の下に水受けを置く。

※スワレットに取付けた場合は、本体着脱機構で本体を取外して、水受けを床下に置いてください。(GB・GPのみ)



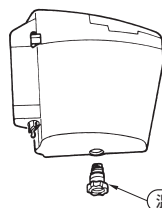
⑤連結ホースの水を抜く。

- 連結ホース水抜栓をゆるめた後引抜いてください。
- 連結ホースを持ち上げて連結ホース管内の水を完全に抜いてください。



⑥温水タンクの水を抜く。

- 温水タンク水抜栓をゆるめて温水タンクの水を抜いてください。
- ※スワレットの場合は、施工時にはずした「つまみ部」を使用します。つまみ部の十字の突起を温水タンク水抜栓の溝に合わせてまわします。



(スワレットの場合)



⑦水を抜き終わったら、連結ホース水抜栓および温水タンク水抜栓を確実に締付けてください。

工事店様へ

取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。

ウォシュレットの機能・つかいかたについてお客様に説明してください。新築などでお客様に引渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。